**令和２年度　大阪府大阪市保健医療連絡協議会　議事概要**

日時：令和３年２月25日（木）午後２時から３時30分

場所：大阪市福島区民センター　ホール

出席委員：23名（委員総数34名）

（中川委員、梅垣委員、宮田委員、中島委員、鈴木委員、勝田委員、上野委員、二木委員、覺道委員、吉井委員、加納委員、瀧藤委員、澤委員、宮川(晴)委員、永岡委員、中尾委員、北垣委員、三嶋委員、大道委員、髙澤委員、片桐委員、中喜多委員、吉田委員、）

傍聴者：３名、報道関係者：1名

**■議題（１）令和２年度「地域医療構想」の進捗状況について**

**■議題（２）基準病床数の見直しの検討について**

**■議題（３）大阪市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況について**

**■その他（報告事項）**

**③ 新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について**

**（資料に基づき、大阪府保健医療企画課、大阪市健康局から説明）**

【資料１】令和２年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料２】令和２年度基準病床数の見直しの検討について

【資料３】大阪市二次医療圏「地域医療構想」現状と今後の方向性

【参考資料６】新型コロナウイルス感染症対策対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築に向けた考え方 (概要版）

**【主な質問・意見】**

　　特になし

**■議題（４）大阪市二次医療圏における各病院の今後の方向性について**

**①令和２年度病院プラン調査結果の概要について**

**②非稼働病床の状況について（病院・有床診療所）**

**③過剰病床への転換にかかる継続案件について**

【資料4-1】令和２年度病院プラン調査結果の概要

【資料4-2】第2回大阪府大阪市医療・病床懇話会結果の概要

【資料5-1】非稼働病床の状況（病院）

【資料5-2】非稼働病床の状況（有床診療所）

**（資料に基づき、大阪市健康局、大阪府保健医療企画課から医療法人医誠会の経過説明）**

**（大阪府保健医療企画課から医療法人医誠会への確認事項）**

**【確認事項とその回答】**

（事務局）

1. 新病院の病床機能について

・過剰病床である高度急性期病床を30床から98床に増床し、急性期機能が344床、回復期は、27 床から118床に増床し、合計560床で変更はないか。

（医誠会）昨年度説明した計画のまま変更はない。

（事務局）

1. 小児・周産期医療の新設について

・「集約化という国の基本方針に反する」という意見に対し、調整の場では、「厚労省の基本方針や移転先の状況に配慮しつつ、今後、検討していきたい」という回答であったが検討状況はいかがか。

（医誠会）この分野はまだ未確定であるが、いろいろな現状や地域の要望、その他を踏ま

え、地域と折り合いがつくよう検討していきたい。

（事務局）

1. 入院基本料と回復期機能報告との整合性について

・調整の場でも説明が不十分であり、理解いただけなかったため、再度、考え方を説明願う。

（医誠会）新病院での回復期病床118床は診療報酬上、急性期と考えているが、急性期病棟でありながら急性期の患者やそれ以外の患者も受けていかなければならないと考えている。前回説明したとおりであり、方針に変わりはない。

（事務局）

1. 人材確保について

・専用部門を構築され採用を進められているとの回答であったが、追加で説明することはあるか。

（医誠会）10年以上前から医師や看護師を募集するための部門を設けており、毎年計画的に採用を進めている。医師については医師を採用する専門部門と紹介会社を経由し必要数の確保を考えている。看護師も同様で学校等で採用を進めており概ね確保できるのではないかと考えている。

（事務局）

1. その他

・調整の場での説明内容から変更された点、追加で説明されたい内容はあるか。

（医誠会）建設の進捗状況及び開設時期についても昨年11月の説明と同内容である。

**【審議事項】**

（事務局）

1. 医誠会新病院が計画している過剰病床機能である高度急性期機能への転換について承認か否か。不承認となれば、次年度以降も継続協議となる。
2. また、大阪府医療審議会においても、医誠会新病院の過剰病床への転換等の計画について、協議いただくか否か。
3. ②について、審議いただきたい。

**【主な質問・意見】**

（意見）昨年開催された「調整の場」や「大阪府大阪市医療・病床懇話会」においても、医誠会新病院の計画には了承できないとの意見であったが、地域医療構想調整会議にあたる本協議会においても同様の判断が必要だと考える。

（会長）本協議会の意見として、「医誠会新病院が計画している過剰病床機能である高度急性期機能への転換については承認できない。また、大阪府医療審議会においても、医誠会新病院の過剰病床への転換等の計画について協議が必要である」ということでよいか。

（異議なしの声）

**（資料に基づき、大阪市健康局から継続案件（医療法人医誠会以外）について説明）**

**【主な質問・意見とその回答】**

（意見）大阪警察病院と第2警察病院の再編計画については、詳細がわからないため今後の議論になるのか。

（事務局）再編後の病床機能や病床機能再編支援補助金の活用について、来年度以降に議論していただく予定である。

（会長）継続案件となっている他の病院については、地域の実情を踏まえた上での転換・再稼働であり、了承するということでよいか。

（異議なしの声）

■**議題（５）地域医療への協力に関する意向書等の提出状況について**

**（資料に基づき、大阪市健康局から説明）**

【資料 ６】「地域医療への協力に関する意向書」提出状況

【資料 ７】「医療機器の共同利用に関する意向書」提出状況

**【主な質問・意見】**

（意見）意向書は９月から運用開始のため、それ以前に現地調査を終えた場合、意向確認ができていない医療機関もあるが、来年度からは正確な調査結果がでると思うのでよろしくお願いしたい。

**■議題（６）大阪市二次医療圏における第７次大阪府医療計画の取組状況の評価について**

**（資料に基づき、大阪市健康局から説明）**

【資料８】第７次大阪府医療計画ＰＤＣＡ進捗管理票

**【主な質問・意見】**

特になし

**■議題（７）市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画について(案)**

**（資料に基づき、福祉局弘済院から説明）**

【資料9-1】市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画（案）の概要

【資料9-2】市立住吉市民病院跡地における新病院設置に伴う病院再編計画（案）

**【主な質問・意見】**

（意見）大阪市立大学に高齢者に対応できるスタッフがどの程度いるのか。また、小児科では在宅医療を支援するということであるが、大阪市内でどの程度の人数を対象としているのか。

（事務局）新病院のスタッフについては、認知症関連においては（病床規模及び機能の拡大に合わせて）現在の弘済院附属病院のスタッフプラスアルファと考えており、現在弘済院では手術等を行っていないため、身体合併症については市立大学から増強していくことになると考えている。

　小児・周産期については、外来診療という意味合いでは、現行の診療所運用を基に進めていく計画。また、小児科の在宅医療は市立大学の小児科が行っている研究という側面も含め、重症の新生児の成育を追いかけていくという過程のなかで、在宅医療に関わる人材を含めて育成し、これからの展開を考えてもらう計画になっている。

**■その他（報告事項）**

**➀ 地域保健医療推進懇話会・保健医療協議会の開催状況について**

**②大阪市域における傷病者の搬送及び受入れの実施基準の改正について**

**（資料に基づき、大阪市健康局から説明）**

【資料 10】地域保健医療推進懇話会・保健医療協議会の開催状況

【資料 11】大阪市域における傷病者の搬送及び受入れの実施基準

**【主な質問・意見】**

特になし

終了